

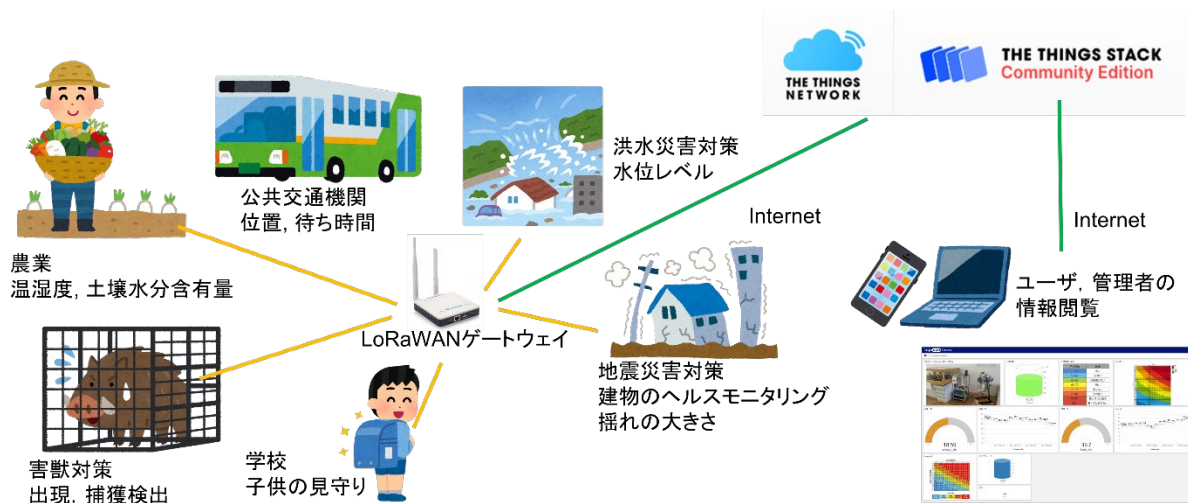
2023年10月10日

報道関係者 各位

群馬大学工学部が群馬県太田市とともに推進する実証実験が、総務省「地域デジタル基盤活用推進事業」に採択されました。

群馬大学工学部（群馬県桐生市ならびに太田市）は、群馬県太田市と協力して、LoRaWAN（超低電力広域ネットワーク）で人々の暮らしを豊かにするための実証実験を推進しています。

本取り組みが、総務省「地域デジタル基盤活用推進事業」に採択されました。要となる事業実施団体は群馬県太田市で、共同実施団体として群馬大学ならびに地域産学官連携ものづくり研究機構が参画します。3者の緊密な連携により、事業を強力に推進します。



本件の概要

- LoRaWAN（超低電力広域ネットワーク）は、5Gと正反対のコンセプトをもつ通信規格です。超高速大容量通信の5Gに対し、低速小容量ながら超低電力かつ超広域通信を低コストで実現します。
- ひとつで半径数キロメートルオーダの範囲をカバーするゲートウェイ（基地局）が、域内の数千のセンサとネットワークを構築します。電池を入れたら年単位で稼働し続けるセンサは、田んぼ、山の中、河川敷、校庭の隅、走行中のバス、橋梁・トンネル等のインフラ、といった既存のネットワークがカバー困難な場所を

容易に通信範囲におさめます。ただし通信速度は非常に遅く、センサにアクセスできるのは数分に1回のみです。

- LoRaWANを使って、例えば、小さなGPSセンサを使って子供の見守りに使ったり、温湿度センサを使って小学校体育館の熱中症予防に使ったり、路線バスの位置や混雑度を検出したり、様々なアイデアが実現できます。

- 今回、この取り組みが総務省の地域デジタル基盤活用推進事業に採択されました。群馬大学理工学部は、今後も太田市ならびに地域産学官連携ものづくり研究機構との協働のもと実証実験を継続し、LoRaWANのさらなる活用を推進してまいります。

<用語解説>

「地域デジタル基盤活用推進事業」・・・国が進める「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて、地方公共団体などによるデジタル技術を活用した地域課題解決の取組に対して、総合的な支援を行う補助事業です。

【本件に関するお問合せ先】

群馬大学 理工学部 教授 中沢信明 E-MAIL : n.nakazawa@gunma-u.ac.jp

庶務係広報担当 TEL : 0277-30-1895

E-MAIL : k-dayori@jimu.gunma-u.ac.jp